



郡上長良川ロータリークラブ

会長テーマ

ひだまりロータリー

会長：和田良一 副会長：三島 昭 幹事：島崎秀樹

第1988回 令和2年2月26日(水)

本日の行事 大和例会（外来卓話 寛政則様）

2019-20年度

和田良一会長

・新型コロナウイルスの対応について

本日のお客様

寛 政則様

* 地区事務所より

幹事報告

島崎秀樹幹事

・クラブ増強状況報告書

* ガバナー事務所より

・地区補助金申請について

第1987回例会

会長挨拶

2019-20年度 和田良一会長

皆さん今晚は。本日は各務原中央ロータリークラブより指宿真弓様にお越しいただきました。ありがとうございます。

この後の外来卓話にお話し頂きますので、会長の時間は致しませんが、お願いがあります。4月5日に志摩ロータリークラブの30周年記念式典がありますのでお願いします。前日の4日に小倉中央ロータリークラブと3クラブ合同で懇親会を行います。5日は記念式典になります。志摩クラブさんからは全員来てほしいということでしたが、是非大勢の方に参加していただきたいと思います。2日は無理でも当日の式典だけに来られ手もいいと思います。

また加賀中央ロータリークラブの40周年記念式典の招待状が来ています。4月15日です。日帰りで3時から記念式典になり、終了は6時頃の予定です。9時頃には白鳥へ帰ってこれると思います。加賀中央RC式典は全員登録になります。大勢の方に出席していただきますようお願いします。今から予定を空けておいてください。よろしくお願い致します。

外来卓話「子供食堂について」

各務原中央RC 指宿真弓様

皆様今晚は。私は今各務原中央ロータリーで青少年奉仕を担当させて頂いております。私はロータリアンとなって3年が終わったところです。同時に市議会議員となって3年です。このロータリーにご縁をいただいたのは、先輩ロータリアンの私の地元にはいらっしゃるドクターをされている80歳を超えた方ですが、チャーターメンバーみたいな方で、ずっとロータリアンで町貢献をされている方です。たまたま私が選挙で出る前に私のリーフレットをお配りして、先ほど紹介していただきましたが船会社の方に勤めておまして、車の輸出を海外に向けてやっておりました。ちょうど各務原中央ロータリーの行事で、市から払い下げになった救急車、だいたい10年で基本的にはスクラップになるのがルールになっており、もったいないので途上国に送りたいという話で、ちょうどプロジェクトで進めているという話がありまして、地域にそんな人がいるんだっつたらと云う事で、それがご縁でロータリーに入りました。そういった意味で20年程名古屋の方に勤めておまして、38歳で主人とご縁をいただきまして寿退社を致しました。



私の父親は長く市役所の方でお世話になっておまして、農政畑で、各務原人参のブランド化に取り組んでいると云う事もあり、私の地元は各務原でも比較的、田園風景の広がる所でありまして、農業振興、或いは中山道鶯沼宿といった宿場町で大変栄えた地域でございますので、地域文化、木遣りをご存知か分かりませんが、保存会もあつたりしまして、非常に歴史文化の薫る地域であると言ったところで、私の世代で次の世代につなげなくてはいけないかなと思っておりましたところ、偶然にも一度市議会議員に出てみないかと言われまして、世界あちらこちら見させていただく中で、各務原に是非貢献したいという思いで、非常に微力ではありますが50歳の時に挑戦をさせていただいて今3年目を迎えております。その中で、ロータリーのメンバーの方からは是非街づくりと言った各務原市の行政の状況だったり、

地域の住んでいる住民の御威光であったり、課題問題を是非ロータリーの活動にお手伝いで出来ることはないかとお声かけいただいて、そのままロータリアンになった状況であります。

各務原中央RCの今私がお役をいただいております青少年奉仕の活動の一環をご紹介します。今やっているのが、各種団体と青少年健全育成の為の団体と積極的に交流を行う。各務原西高校にインターアクトクラブと積極的に交流を深めておりまして、年次大会や協議会、或いは教師部会に参加させていただいております。先週の日曜日は、ポリオ根絶の募金活動を行いました。高校生が22名、校長先生を含めて先生が4名集まって32名ほどで1時間ほどの募金活動を行っています。青少年奉仕ではありませんが、そのほかに国際交流の一環として、年末にサンタクロース交流事業として、市の国際観光化の職員で外国の方がいらっしゃるの、その方がサンタクロースに扮して、市内の保育所を周ってプレゼントを渡したりしています。作陶教室と言って、ロータリアンの中に陶芸を趣味でやっているチャーターメンバーがいますので、親子や高齢者の方と一緒に陶芸を通して交流を深める、こちらは社会奉仕、職業奉仕の部類になるかと思いますが、ひっくるめて青少年との関わりとを重要視した活動をしております。

昨年の暮れに東海北陸道グループの女子会がありまして、こんな話をしていたら是非卓話に来てほしいと言われました。ちょうど今子供食堂がクローズアップされておりまして、国の方も昨年11月には子供貧困対策というのを閣議決定もしておりまして、いよいよ子供の貧困について国あるいは県を上げて取り組まなくてはいけない課題になってきたのかなと、今日はそのあたりを話したいと思います。

先ず子供の貧困という、皆さんどこにあるの？という話を聞かれると思います。貧困と言っても途上国のいわゆる着る物も寝る所も食べる物もないストリートチルドレンと言われる貧困は、絶対的貧困と言うのですが、相対的貧困、これが日本で言われている子供の貧困と言われているものです。相対的貧困は、年収が122万円以下の実質的に手元に入ってくる家庭の方を貧困ラインと言って、それ以下の方を貧困家庭と言っているようですが、実は2年前に国が各都道府県自治体に、貧困状態を調べなさいと云う通達がありまして、県の方で平成30年位各市町村に向けて子ども調査、いわゆる貧困調査をしているそうです。実際日本では貧困ライン以下の子供が7人に1人がいるそうです。そんな中、日本は経済大国3位であるにもかかわらず、貧困率15.6%くらいと言われていたのですが、非常に先進国の中でも高く、社会問題だとも言われています。県が集計を取りましたところ、子供の貧困が7.2%で、全国15.7%の半分が岐阜県になります。郡上市さんを色々調べましたが貧困率が出ておりません。各務原市の貧困率は6.7%ですので、比較的貧困と言われる子が少ないという見方もあるのですが、いなくはないと云う事です。やはり一人か二人は想定の貧困がいるということが事実です。私は子供はおりませんが、甥や姪っ子、お母さんたちとの仲間の中で、子供を抱える人が沢山いますので、この問題は捨てておけないと思っています。こういう子供たちに手を差し伸べないと、今後国の損失として社会的損失が42.9兆円に上るといったような積算もされているのが現実です。子供の貧困は見えないからいいやと言わず、そこは手を差し伸べなくてはいけない問題だと思って、取り組ませて頂いております。

貧困調査から何が分かったのかと言いますと、ひとり親、シングルマザーのご家庭の半数以上が貧困家庭、貧困層と言われております。調べたところ、いわゆる低年齢化、特に子供さんが幼稚園や小学校低学年のお子さんが多いと聞いております。想像しますに、子供が小さいとお母さんの働き方がかなり制約されるので収入がない。高学年、中高校生になれば子供だけで留守番が出来るので貧困率もやや解消されるようですが、私も市議会議員と云う事もありますので、市の行政にも提案しておりまして、とりあえず就学前の子供たちの貧困を社会で救っていかなくてはいけないのではないかと。シングルマザーが働いても中々収入が上がらない、非正規であったりという所もしっかりと手当をしていかなくてはいけないのではないかと。資格が取れるような職業給付金、ここの生活支援など、今後進められていくと思います。こういった制度支援を拡充もさることながら、今身近で広がっているのが子供食堂です。

子供食堂という言葉も3、4年前から聞かれています。中々失敗していて、個人の思い、お母さん、ご夫婦が片手間でもやってみても資金的に窮してしまい、思いはあるけど続かない。あるいは、社会一般的に、子供の貧困といってもどれだけ貧困なのか、本当に貧困の子が通えるのかという話もありまして、各務原市でも3年ほど前からご夫婦でやられている所もありましたが、やり方や管理がずさんだったり、借りている家賃が払えないだったりと問題があって、地域からも受け入れられない状況でした。最近、国が貧困対策という形で、ここ1.2年で子供食堂に対する意識が変わってきました。各務原市としても昨年、子供食堂の補助金を条例で要綱を定めまして、市としても補助金の対象にしました。もともと県の方も3年ほど前からボランティア補助金という形で1回に当たり50万円出したり、いろんな補助金があるようですが、そういったものを活用されている方も見えます。各務原市はボランティア補助金ではなく、あくまでも子供食堂の補助金として、最大30万円の補助金を付けております。事業費の2分の1です。全部ではないですが、子供食堂をするに当たり備品などを確保いただくような形で、1年目は30万円、2年目は15万円と助成をしております。

ただこの助成を受けているのはたった1社だけです。いま手を上げていただいているのは、社会福祉事業団のようなデイサービス、認定こども保育園をやって見える方が手を上げて頂いて、そこで子供食

堂を昨年の夏からコンスタントにやっていたいております。何が続けられないのかと考えた時に、調理場がある、職員がいる、安全対策が出ている、その場所には高齢者が見えて、一緒になって子供たちと触れ合うと云う事で、コミュニティが希薄化している中で、触れ合う事で社会性や思いやりだったり、人間性が育まれていくのではないかと云う事で、そこは子供食堂からコミュニティ食堂へと大きく事業を展開しようとしてされている所でもあります。一方、補助金を得ないで飲食店の方ですが、飲食をやっているとどうしても食品ロスが出るので、捨てるよりは社会貢献をしたいと云う事で、結構飲食の方が独自で材料を1週間分貯めて週1で行っている子供食堂を展開している所もあります。そういう所は無償で子供は無料、一緒に来る親は2, 3百円で親子一緒に食事を取るという取り組みをされている所もあります。またシニア食堂をされている所もあります。個人でやるには限界があると思います。食品衛生管理上どうなのか、子供さんの場所としてくるのはいいけど、近くの公園に遊びに行っても知らん顔ではないですが、子供は自由に遊べばいいんだと言われますが、実際のところ何かあった時に誰が責任を取るか、危機管理がなされていない、個人の単なるちょっとやりたいと思っただけでは、危機管理に危惧されるところもあります。実際来る子供さんはここにきていることを知っていますか？と聞くと、いや知らないというような話で、地域住民の方もとても心配だと、地域のある一角のアパートでやっているのはいいけど、子供たちが来て道に出て公園に行ったりして、地域住民と揉めて辞めた方も見えます。

子供食堂もきっちりと地域を巻き込む。特に自治体や民生委員さん、児童民生委員などを巻き込んで、地域で子供を育てる視点で子供食堂を運営していかなくてはいけないかなと思います。

いま話をしている中で、子供の貧困で子供食堂とありますが、中には子供の貧困の中で問題になっているのは、補植や栄養、あるいはふれあいとかありますが、学習支援これも非常に大切で、基礎学習ができなければ大人になった時に就職と言ったところで、ちゃんとした仕事に就けないということで同じような家庭になってしまう負の連鎖が懸念されているので、子供食堂と並行してやらなくてはいけないのが学習支援です。郡上市さんも行われていると思いますが、各務原市でも放課後に学習支援を学校でやったり、或いは地域の福祉コミュニティセンターでやったり、ここには地域人材を活用して、教師OBだったり、勉強を教えるというより見守るといった観点からどなたでも参加できるので、今進めていかなくてはいけないので、私も皆さんからご相談を受ける中、“こんな事をやりたいがどうだろうか” “こうしたらどうだろうか” といった意見を集約して地域の方、或いは議会で質問をしてここには予算を付けてくれと言った形で活動をさせていただいております。郡上長良川ロータリーさんは女性が非常に多いとお聞きして、当クラブは26名の会員で女性2人です。どこを調べても女性が多いクラブはないと思っまして、ある意味とても先進的な白鳥町さんだと思っしながら、今日感心して来させていただきました。子供の幸せを考えて、今は虐待など多く、聞くに堪えないような悲惨な事件が相次いでおりますが、今の世の中 少子高齢化でいまいっぴり未来を見据えて、いま対策を取ってあげないと子供さん自身、また国益にも関連してくるのではないかという思いで、小さなことから積み上げていくことが大切ではないかと感じています。

子供食堂については県の補助金、市の補助金、まったくのボランティアでやって見える方、いろいろあります。運営自体が多様化しております。社会福祉法人だったり、カフェだったり飲食店、社会福祉協議会、これはどちらかという地域単位になると思います。こういった所でしっかり資金面、物資調達です。こういったものはJAさんも非常に興味があると言われておりまして、私も結構農業振興とかもしておりますので、JAさんとも繋がりがありまして、「指宿さん、どこかあればお米や野菜などが余っていればどこでも寄付するから言って」と言われております。サイドであちこちで言いますと寄付してと言われますので一つずつ整理をしてから、でも地域には農地が多いのですので、個人で家庭菜園して余った野菜があり、出来れば活用したいとおっしゃる方も見えますので、うまく地域の思いとやりたい方、やっていただける方の思いをマッチングさせることも、とても良い事ではないかなと最近思っております。これは最近食品ロスと言った観点にもつながり、環境問題にも発展していくとも私は考えるからです。私は飛騨市の方にも付き合いがありまして、飛騨市さんのケースを聞きますと、学童保育（不尾かご児童教室）が終わった後に、子供さんたちを子供食堂の方へバスで移動してもらって、子供に食事を提供していて、これは行政が民間委託してやっているようです。過疎地域先進地域と言われている所で、ある意味背作のポイントで売りたいと思うんですが、子供食堂を学童の流れで施設へバスで誘導して食事を出す、と言った子供の居場所としての活用もしていると伺っております。各務原市の方はそこまで追いつかないですが、ゆくゆくこれがとても大事な活動であれば、子供さん、或いは独居の方をひっくるめてコミュニティ食堂と発展させるのであれば、行政としての適切な予算配分もしていかななくてはいけないかなと、広くそんな夢を持ちながら活動をさせていただいております。

まだまだ子供食堂もやっと始まって、少しずつ動きかけている所です。ただ個人でされるには非常に難しいので、地域あるいは社会福祉事業団、或いは飲食をされている方とされるのが一番固く、一度やって辞めるのはいけないと思っしますので、継続的な活動と考えた時に非常に普通に大変じゃないかなと思っております。

課題としては、子供の貧困、1人親が多いので、こういった所の女性への就労支援であったり、お母さんのスキルを上げるような資格取得へ向けた支援が、県も用意しております。支援を知らないお母さんへの周知をいかにしていくかも今後の課題だと云う事で、各務原市も新年度予算で冊子を作っていたいただけるような話もありますので、行政としっかりタッグを組みながら地域の方と一緒に地域で子供を育てる、見守る、そんな活動が出来ればと思っております。

白鳥踊りも10年程前に源助さんの太鼓を聞いてすごく感動しました。郡上踊りよりもめちやくちゃ感動しましたので、ご縁をいただきましたので、この夏には時間を見つけて来たいと思います、ありがとうございました。

ニコBOX

ニコBOX委員会 旭 美香君

各務原中央RC 指宿様 私の拙い話を聞いていただきありがとうございます。1人のロータリアンとして本お気持ちで入れさせて頂きます。これをご縁に白鳥踊りに是非参加させて頂きたいと思っております。

和田良一君 指宿真弓様、通り所をようこそお越しくございました。今夜は卓話楽しみにしております。今日は休日、家内と富山の娘の引っ越しの為、障子の張り替えに行って来ました。

美谷添生君 各務原中央RC指宿様、ご来訪ありがとうございます。やっと冬が来た感じの雪が降りました。今季初の除雪車の出動でした。

山口君 各務原中央RC指宿様よろしくお願ひします。子供食堂の話楽しみに来ました。

川島君 雪が降ってやっと冬らしくなってきました。

藤代君 指宿様、今晚は卓話ご苦勞様です。楽しみに聞かせて頂きます。

佐藤君 指宿さん、お忙しい中、郡上までありがとうございます。よろしくおします。

井俣君 指宿さん、本日はようこそ長良川RCへ。卓話楽しみにしております。

羽土君 指宿様、遠路お出で下さいます手ありがとうございます。卓話よろしくお願ひします。

美谷添里恵子君 指宿さん、遠路お出かけくださりありがとうございます。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

松森君 指宿様ようこそ郡上へ。本日はよろしくお願ひします。

同文 大村君、寺田澄男君、三島勲君、山下君、石徹白君、畑中君、和田智博君、旭君

次回例会予定

2月28日 IDM (ホスト 山下君)

3月 4日 会員卓話

3月 2日 会長幹事会 (八幡町 みはらや)

3月14・15日 PETS (高山市)

出席報告

出席委員会 大村太郎君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数
第1986回	34名	21名	13名	
第1987回	34名	22名	11名	1名

例会日：毎週水曜日 午後6時30分 (6～9月 午後7時～)

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 岐阜県郡上市白鳥町白鳥47番地12

TEL. 0575-82-3822 FAX. 0575-82-5191

URL <http://www.guonagaragawa-rc.com/> E-mail gsrc@abelia.ocn.ne.jp

発行 クラブ会報委員会